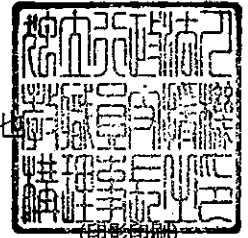


独教事研第33号  
平成30年3月29日

各都道府県知事 殿

独立行政法人教職員支援機構

理事長 高岡 信也



平成30年度人権教育指導者養成研修の実施について（依頼）

平素より、教職員支援機構の研修事業に御協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、平成30年度の標記研修につきましては、別添実施要項のとおり実施いたしますので、貴管下の私立学校に御周知いただきますようお願いいたします。

については、推薦がある場合は、別添の実施要項中「7受講者（5）推薦手続」のとおり、貴管下の私立学校分を取りまとめの上、様式1「推薦名簿」を平成30年5月18日（金）までに、電子メールにて、事業部研修事業課宛てに御提出ください。実施要項、推薦名簿等は、当機構ホームページ（<http://www.nits.go.jp/training/002/019.html>）よりダウンロード可能となっております。

なお、本研修は、各地域において、本研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や、各学校への指導・助言等が受講者により行われることを目的としております。推薦にあたっては、本研修の目的を御理解の上、適切な方を御推薦いただくとともに、受講者の成果活用に御配慮いただきますよう、よろしく願います。受講者には、研修終了1年後に成果活用状況について調査することとしております。



本件問合せ先：

独立行政法人教職員支援機構事業部

研修事業課研修プロデュース室（目見田、長谷川、小國）  
〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

TEL:029-879-6983, 7010

FAX:029-879-6645

E-mail:kk2@ml.nits.go.jp

## 平成30年度人権教育指導者養成研修 実施要項

### 1 目 的

学校教育には、児童生徒に人権感覚を身につけさせ、人権意識を尊重して行動できるような教育を実施することが求められており、各学校においては、「人権教育の指導方法等の在り方について（第三次とりまとめ）」の提言を踏まえ、人権教育の指導方法等の改善・充実を図ることが求められている。

本研修では、人権教育に関する国内外の動向や人権教育に関する効果的な指導方法等について、研究協議及び演習等を行うことにより児童生徒に人権を尊重する態度を育成するため、各学校や地域における研修のマネジメントを推進する指導者として必要な知識等を習得させ、各地域において本研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や各学校への指導・助言等を行うことのできる指導者の養成を図る。

2 主 催 独立行政法人教職員支援機構

3 共 催 文部科学省

4 期 間 平成30年7月17日（火）～平成30年7月20日（金）

5 会 場 独立行政法人教職員支援機構  
〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

6 定 員 120名（6ユニット）

### 7 受講者

#### （1）受講資格

- ①都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者（人権教育担当者を含む）
- ②幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校（園）長、副校（園）長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭であって、各地域において本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う（予定を含む）者
- ③当機構の修了証書をもって単位認定を行う（予定を含む）教職大学院の学生

#### （2）推薦人数

各都道府県（中核市分を含む）・指定都市においては2名以上とする。

推薦に当たっては、①指導主事等、②校（園）長・副校（園）長・教頭、③教諭等をそれぞれ1名程度で、学校種が重複しないよう配慮する。

#### （3）女性の研修参加の促進

指導的地位における女性の占める割合が高まることが期待されていることから、当機構としては、女性が受講者全体の25%を上回ることを目指している。推薦者においては、女性の積極的

な推薦について御配慮願いたい。

#### (4) 健康状況の確認

宿泊研修となるため、宿泊研修に耐え得る健康状況の者を推薦するよう御配慮願いたい。

#### (5) 推薦手続

推薦期限は、平成30年5月18日(金)とする。

各都道府県・指定都市教育委員会においては推薦者を取りまとめ、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修情報登録システム」により推薦を行う。

私立学校においては、都道府県知事部局に連絡し、都道府県知事部局が、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

国公立大学法人及び独立行政法人国立青少年教育振興機構については、各機関の担当部局が取りまとめの上、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

#### (6) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。定員を超過する場合は、受講者数を調整する場合がある。

### 8 研修内容

研修1日目には、行政説明・講義を通して「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」を踏まえた人権教育について理解を深めるとともに、受講者が事前に作成した資料（以下、事前課題）について班内で1人ずつ説明を行い、意見交換を行う。研修2日目には、個別の人権課題についての講義・事例発表等を通して理解を深める。さらに研修3日目には、1日目及び2日目に学習した内容をいかして、人権教育の指導方法、研修プログラム又は校内の組織体制等について、それぞれの地域や学校において成果を普及する際の資料（レジュメ）や指導案を、班ごとに作成する。

日程は、別紙「日程表」のとおりとする。

### 9 事前課題

#### (1) 事前学習

受講者は、本研修を受講するに当たり、次の報告等に目を通しておく。（いずれも文部科学省HPよりダウンロード可）

- ・「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」（人権教育の指導方法等に関する調査研究会議）（平成20年3月）
- ・「人権教育の推進に関する取組状況の調査結果について」（平成25年10月）

#### (2) レポートの作成

課題A～Cより1題を選択し、「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」を踏まえて、自校等の取組や課題についてレポートを作成する。作成したレポートは、別紙「日程表」の「演習1」において情報交換等に用いる。

なお、提出方法については受講者決定時に連絡する。

	課 題	様式
A	教育委員会等における効果的な教職員向け研修プログラム等の作成	様式2によりA4版1頁以内で作成する。
B	学校としての組織的な取組 (校内の推進体制の整備、全体計画等の策定、校内教職員研修、地域社会との連携、関係機関等との連携 等)	様式3によりA4版1頁以内で作成する。
C	指導内容・指導方法・学習環境づくり等の工夫・改善	様式4によりA4版1頁以内で作成する。

## 10 その他

- (1) 所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。受講者推薦の際に、必ず受講者の氏名を確認し、正確に記入すること。
- (2) 本研修は、原則として宿泊研修とし、教職員支援機構の宿泊施設を利用するものとする。
- (3) 本研修終了時に受講者アンケート等を行う。また、研修終了から一定期間（約1年）経過後に、研修成果の活用について、受講者に対するアンケート調査を行う。

# 平成30年度人権教育指導者養成研修 日程表

8:30	9:00	9:30	10:30	10:40	12:00	13:00	15:25	15:40	17:15
7月17日(火)	受付	開講式・オリエンテーション	行政説明1 「人権教育を取り巻く国の動向等について」	休憩	行政説明2 「北朝鮮当局による拉致問題等について」  「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律及び部落差別の解消の推進に関する法律について」	昼休憩	講義・課題協議1 「国内外の動きと学校における人権教育」	休憩(15分)	演習1 「人権教育推進上の課題と改善策等についてー『人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]』等を踏まえてー」  目的: 「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」等を踏まえて各地域の取組を情報交換することで、課題を共有し、明確化する。

8:30	10:00	10:15	12:15	13:15	17:15
7月18日(水)	講義・課題協議2 「みんながつくるみんなの学校」	休憩	講義 「学校で配慮と支援が必要なLGBTの子どもたち」	昼休憩	事例発表・協議・演習 「人権教育推進上の課題と改善策等についてー『人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]』等を踏まえてー」  目的: 人権教育の先進的な取組を知るとともに各地域の取組を共有することで、演習に向けて課題を明確化する。

8:30	12:00	13:00	17:15
7月19日(木)	演習2-1 「学校における人権教育の改善・充実についてー『人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]』等を踏まえてー」  目的: 各テーマにおける現状と課題について協議を深めることにより、人権教育を推進するための資料(研修成果を活かすための資料)を作成し、改善・充実策等に関する知識・方法を修得する。	休憩(15分)	昼休憩

8:30	12:00	13:00	15:00	15:15
7月20日(金)	演習2-2 「学校における人権教育の改善・充実についてー全体発表・協議・まとめー」  目的: 研修成果の全体を理解するとともに、演習成果の活かし方について理解を深める。	休憩(15分)	課題協議 「人権教育を推進するリーダーとしてー研修講師、企画・運営に向けてー」  目的: 人権教育についての理解を深め、本研修の成果等をまとめる。	閉講式

担当者氏名		所属郵便番号(半角)	
担当者フリガナ(全角)		所属所在地	
所属電話番号(半角)		所属名称	
所属FAX(半角)		e-mailアドレス	

- 提出された受講者推薦名簿は、教職員支援機構における受講者の決定事務及び名簿作成以外での使用はいたしません。
- この用紙は、各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦事務には使用しないでください。（各都道府県・指定都市教育委員会は研修情報登録システムを使用してください。）
- 中核市教育委員会においては都道府県教育委員会に対する連絡に、私立学校においては都道府県知事部局に対する連絡に、それぞれ使用してください。
- 本様式は、教職員支援機構ホームページ（<http://www.nits.go.jp/training/002/019.html>）よりダウンロードしてください。
- 「学校種」欄には、幼稚園教員は「幼」、小学校教員は「小」、中学校及び中等教育学校（前期課程）の教員は「中」、高等学校及び中等教育学校（後期課程）の教員は「高」と記入してください。義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校並びに指導主事等については、希望する学校種（「幼」、「小」、「中」、「高」のいずれか）を必ず記入してください。
- 教職大学院の学生の推薦にあたっては、「職名」欄に「学生」と記入し、「所属機関種別」欄に「大学院」と記入してください。また、「備考」欄に、相当する職種（校長、副校長、教頭、教諭等）を記入してください。
- 演習班分けのため、課題 A～Cのうち、希望するものを第 2 希望まで記入してください。
- これまでの人権教育の指導年数を記入してください。（受講者自身が人権教育指導に携わったと考える期間で構いません。）演習班分けの参考情報とします。
- 「班分け希望学校種」欄において、小学校を希望する場合は学年（低学年・中学年・高学年）を、中学校・高等学校を希望する場合は教科を記入してください。演習班分けの参考情報とします。

平成30年度人権教育指導者養成研修

**事前提出資料：演習「学校における人権教育の改善・充実について」****課題A 教育委員会等における効果的な教職員向け研修プログラム等の作成**

受講者番号	都道府県・市名	所 属	職 名	氏 名

**事前課題について****(1) 形式**

- ・ A4サイズ縦置き・横書き、片面1ページ以内、行数・字数は自由とします。
- ・ 受講者番号・研修名・所属名（教育委員会名・学校名等）・氏名の枠を作成してください。
- ・ 受講者番号は、受講者決定時にお知らせします。

**(2) 提出期日・提出方法**

- ・ 詳細は、受講者の決定を通知する際にお知らせします。
- ・ 研修1日目には7部印刷して持参してください。

**(3) 項目（例）**

- 1 域内（学校）の現状と課題
- 2 研修プログラム（実施例を具体的に記入する）
- 3 成果と課題

※ この研修でどのようなことを学びたいか（1～2行程度 必須）

**(4) 留意事項**

- ・ 演習1（1日目）では、班内で事前課題を共有します。写真等を挿入する場合は、児童生徒及び保護者等のプライバシーには十分配慮し、個人が特定できないようにしてください。
- ・ 事前課題のほか、協議に際して使用する参考資料があれば、班内配付用に7部持参してください。

平成30年度人権教育指導者養成研修

**事前提出資料：演習「学校における人権教育の改善・充実について」****課題B 学校としての組織的な取組**

受講者番号	都道府県・市名	所 属	職 名	氏 名

**事前課題について****(1) 形式**

- ・ A4サイズ縦置き・横書き、片面1ページ以内、行数・字数は自由とします。
- ・ 受講者番号・研修名・所属名（教育委員会名・学校名等）・氏名の枠を作成してください。
- ・ 受講者番号は、受講者決定時にお知らせします。

**(2) 提出期日・提出方法**

- ・ 詳細は、受講者の決定を通知する際にお知らせします。
- ・ 研修1日目には7部印刷して持参してください。

**(3) 項目（例）**

- 1 学校の概要
  - 2 人権教育に係る組織的な取組（実施例を具体的に記入する）
  - 3 成果と課題
- ※ この研修でどのようなことを学びたいか（1～2行程度 必須）

**(4) 留意事項**

- ・ 演習1（1日目）では、班内で事前課題を共有します。写真等を挿入する場合は、児童生徒及び保護者等のプライバシーには十分配慮し、個人が特定できないようにしてください。
- ・ 事前課題のほか、協議に際して使用する参考資料があれば、班内配付用に7部持参してください。



平成30年度人権教育指導者養成研修

**事前提出資料：演習「学校における人権教育の改善・充実について」****課題C 指導内容・指導方法・学習環境づくり等の工夫・改善**

受講者番号	都道府県・市名	所 属	職 名	氏 名

**事前課題について****(1) 形式**

- ・ A4サイズ縦置き・横書き、片面1ページ以内、行数・字数は自由とします。
- ・ 受講者番号・研修名・所属名（教育委員会名・学校名等）・氏名の枠を作成してください。
- ・ 受講者番号は、受講者決定時にお知らせします。

**(2) 提出期日・提出方法**

- ・ 詳細は、受講者の決定を通知する際にお知らせします。
- ・ 研修1日目には7部印刷して持参してください。

**(3) 項目（例）**

- 1 学校（学級等）の現状
- 2 指導事例等
- 3 成果と課題

※ この研修でどのようなことを学びたいか（1～2行程度 必須）

**(4) 留意事項**

- ・ 演習1（1日目）では、班内で事前課題を共有します。写真等を挿入する場合は、児童生徒及び保護者等のプライバシーには十分配慮し、個人が特定できないようにしてください。
- ・ 事前課題のほか、協議に際して使用する参考資料があれば、班内配付用に7部持参してください。